

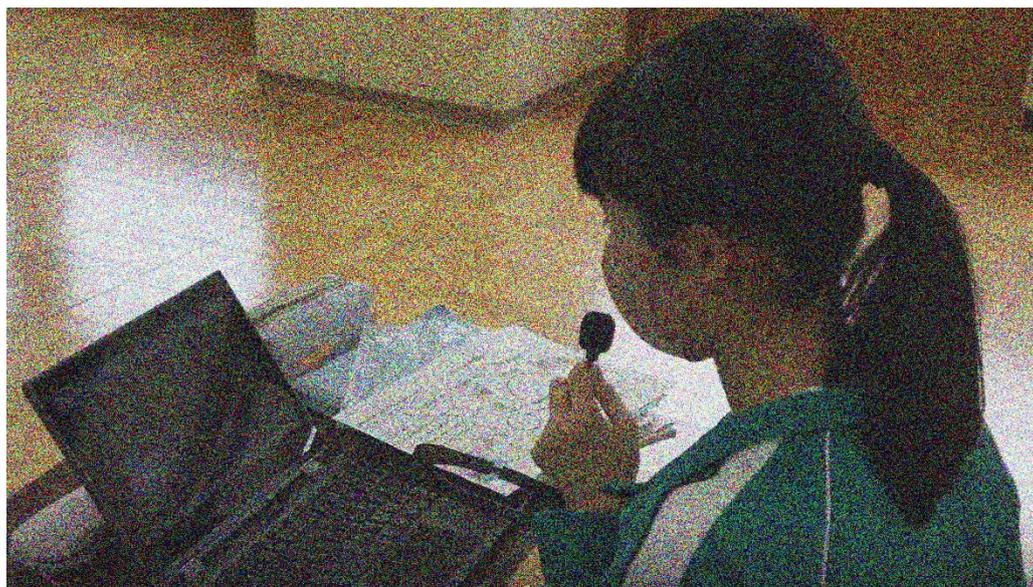
補助資料

自分の考えをまとまりのある内容で話す力を育成する 中学校英語科指導の在り方に関する研究

一話すこと〔発表〕領域を中心とした「即興的に話す言語活動」を取り入れた
継続的な学習過程を通して—

山梨県総合教育センター

令和6年度 一般留学生 小森麻美



目次

1. 事前意識調査
2. 事前実態調査ワークシート
 - (1) ウォーミングアップ
 - (2) 事前実態調査
3. 検証単元授業ワークシート
 - (1) 帯活動
 - (2) タスク活動
4. 事後意識調査
5. 帯活動とタスク活動に対する生徒の感想（一部）
6. 事後実態調査ワークシート

1. 事前意識調査

英語「話すこと」に関する意識調査（7月）

B I U ⇄ ✕

この質問は、英語の授業「話すこと」に関する意識についてたずねるものです。自分のことを振り返って、あまり悩まず、思った通りに答えてください。質問は全部で12問です。

1. 英語の授業で「話す活動」をすることは好きだ。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

2. 英語を話すとき、うまく話せないのではないかと心配になる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

3. もっと英語で話せるようになりたいと思う。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

4. 自分の考えや感想を3文以上の英語で話すことができる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

5. 話す内容の順番を意識して、相手に分かりやすく話すことができる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

6. 与えられた話題について、自分の考えをすぐに思い浮かべることができる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

7. 与えられた話題について、自分の考えを一言一句書くといった準備をすることなく、その場で話すことができる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

8. 英語を話すとき、使いたい単語や熟語が思い浮かび、使うことができる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

9. 英語を話すとき、これまでに習った文法が思い浮かび、使うことができる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

10. 英語の学習では、学習の目標（めあて）を意識し、どんな学習をするのか見通しをもつ*
て学習している。

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

11. 英語の学習では、目標（めあて）を達成することができたか最後に学習内容を振り返っ*
ている。

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

12. 中学2年生1学期の始めと比べて、英語を「話す力」が向上しているのを感じる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

12について、その理由を教えてください。*

長文回答
.....

2. 事前実態調査ワークシート

(1) ウォーミングアップ

ショート動画を使って、自分の考えを相手に英語で伝えてみよう！

Class () No. () Name : _____

Mission 1



We can do it!

あなたは秋に、小森先生と英語の授業をすることになりました。
小森先生があなたと会ったのは数えるほどしかなく、あなたのことをあまり知りません。

でも、小森先生はあなたと授業をするのをとても楽しみにしていて、
あなたのことをよく知りたいと思っています。

あなたのことをよく知ってもらうために、30秒ほどの自己紹介ショート動画を作成し、
小森先生に送信してください。

【メモを書いても良いよ！】

(2) 事前実態調査

Mission 2



We can do it!

小森先生の友達アレクシスさんは、今年の夏、日本に初めて旅行へ来ます。

アレクシスさんは、いろいろな場所へ行ったり、さまざまなイベントに参加したり、おいしいものを食べることをとても楽しみにしています。

自分でも調べているようですが、実際に日本に住んでいる人からのおすすめ情報をより多く聞いてみたいそうです。

あなたは何をおすすめしますか？1つ選び、アレクシスさんが行ってみたくなる／体験してみたくなる／食べてみたくなるように、選んだものについてあなたの考えや気持ちを含めながら 30 秒程度のショート動画を作成し、アレクシスさんに返信してください。

【メモを書いても良いよ！その1】

| |
|--|
| |
|--|

【メモを書いても良いよ！その2】

| |
|--|
| |
|--|

【今日の活動で感じたこと・分かったこと・できたこと・難しかったことなど自由に書いてね！】

| |
|--|
| |
|--|

自己評価

| |
|--|
| |
|--|

3. 検証単元授業ワークシート

(1) 帯活動

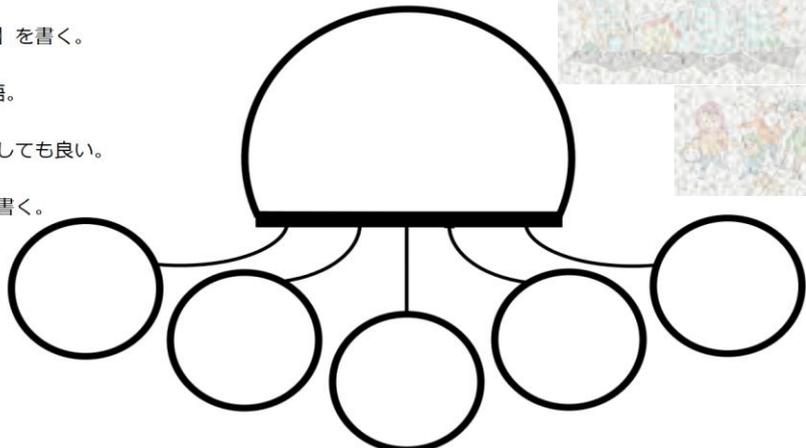
【第1・2時】

October 31st Thursday 帯活動
 () 組 () 番 名前 ()

What is the important thing?

☆頭には、一番言いたいこと【主張】、
 足にはその【理由や説明/感想や気持ち】を書く。

☆1つのスペースに書き込む単語は1～2語。
 ☆関連する内容を書く場合には、足を追加しても良い。
 ☆2回目にメモを書く時には、色を変えて書く。



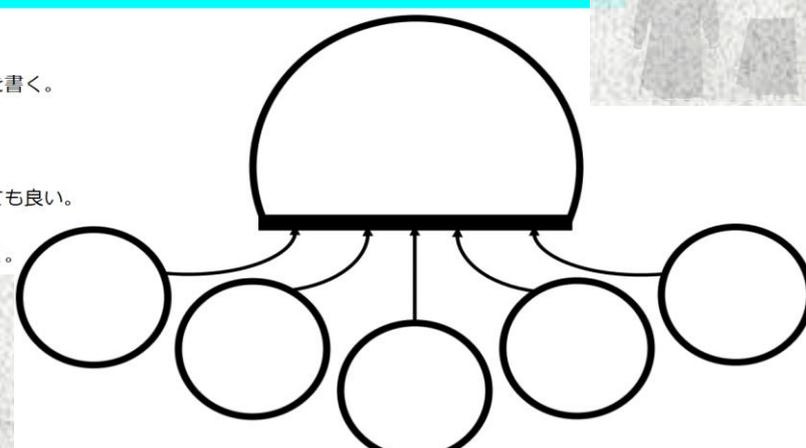
【第3・4時】

November 7th Thursday / 8th Friday Unit 5 帯活動②
 () 組 () 番 名前 ()

We have to wear our school uniforms at school.
 or
We don't have to wear our school uniforms at school.

☆頭には、一番言いたいこと【主張】、
 足にはその【理由や説明/感想や気持ち】を書く。

☆1つのスペースに書き込む単語は1～2語。
 ☆関連する内容を書く場合には、足を追加しても良い。
 ☆2回目にメモを書く時には、色を変えて書く。



【第6時・7時】

November 12th Tuesday / 13th Friday / 14th Unit 5 帯活動③

() 組 () 番 名前 ()

【 I must ~ / I must not ~ 】 at home.

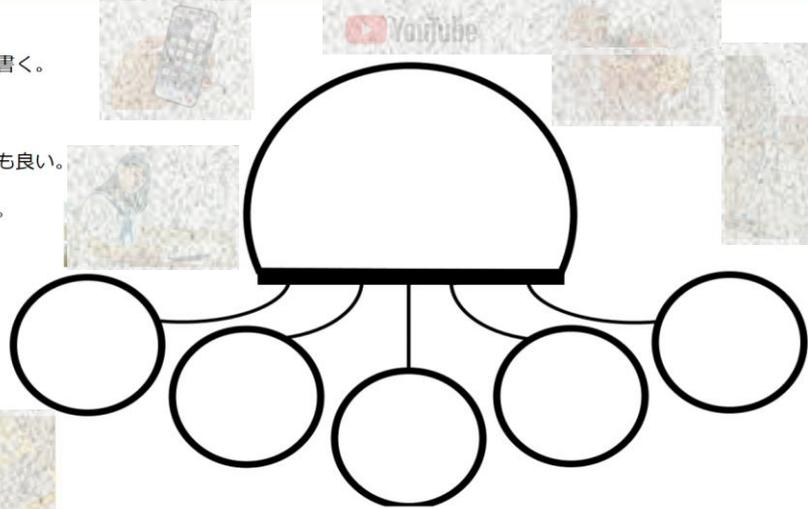
☆頭には、一番言いたいこと【主張】、

足にはその【理由や説明／感想や気持ち】を書く。

☆1つのスペースに書き込む単語は1～2語。

☆関連する内容を書く場合には、足を追加しても良い。

☆2回目にメモを書く時には、色を変えて書く。



【第8時・第10時】

November 15th Friday / 18th Monday Unit 5 帯活動④

() 組 () 番 名前 ()

I 【 should or should not 】 go to bed before ten.

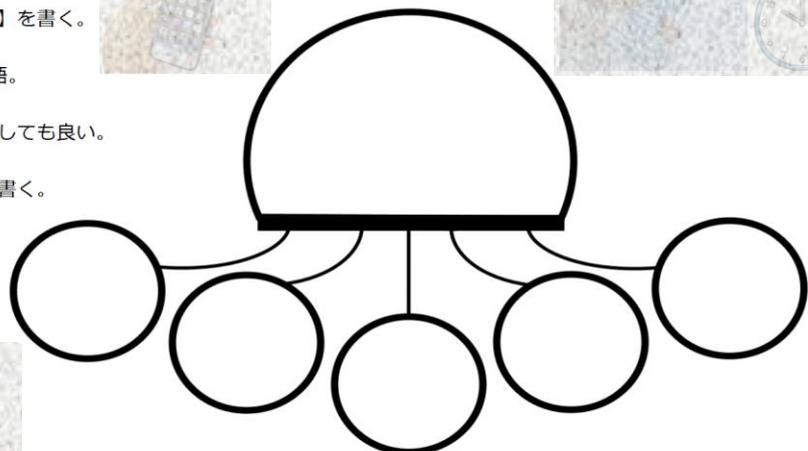
☆頭には、一番言いたいこと【主張】、

足にはその【理由や説明／感想や気持ち】を書く。

☆1つのスペースに書き込む単語は1～2語。

☆関連する内容を書く場合には、足を追加しても良い。

☆2回目にメモを書く時には、色を変えて書く。



(2) タスク活動

【第2時】

Task 2 【Part 1】
() 組 () 番 名前 ()

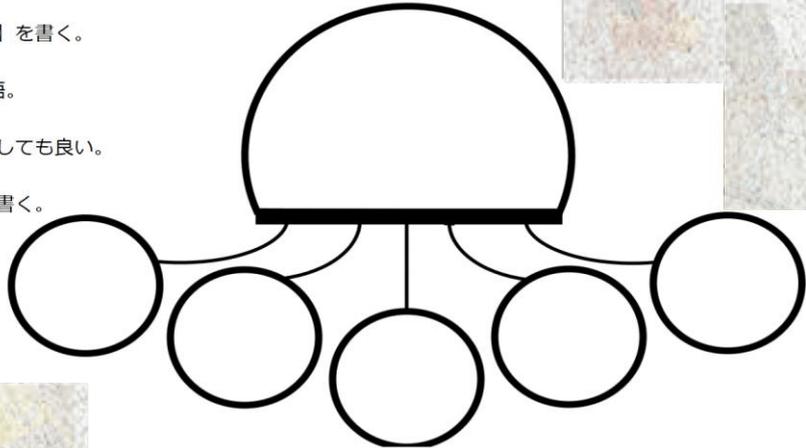
Family Rule

☆頭には、一番言いたいこと【主張】、
足にはその【理由や説明／感想や気持ち】を書く。

☆1つのスペースに書き込む単語は1～2語。

☆関連する内容を書く場合には、足を追加しても良い。

☆2回目にメモを書く時には、色を変えて書く。



【第4時】

Task 2 【Part 2】
() 組 () 番 名前 ()

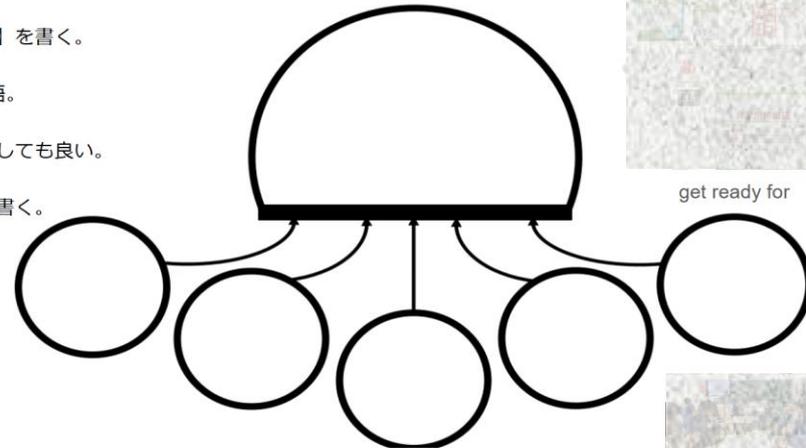
Safety action for an earthquake

☆頭には、一番言いたいこと【主張】、
足にはその【理由や説明／感想や気持ち】を書く。

☆1つのスペースに書き込む単語は1～2語。

☆関連する内容を書く場合には、足を追加しても良い。

☆2回目にメモを書く時には、色を変えて書く。



get ready for

talk / check / join

earthquake drill

study

【第6・7時】

13th Wednesday / 14th Thursday Task 2 【Part 3】

() 組 () 番 名前 ()

Japanese Souvenir

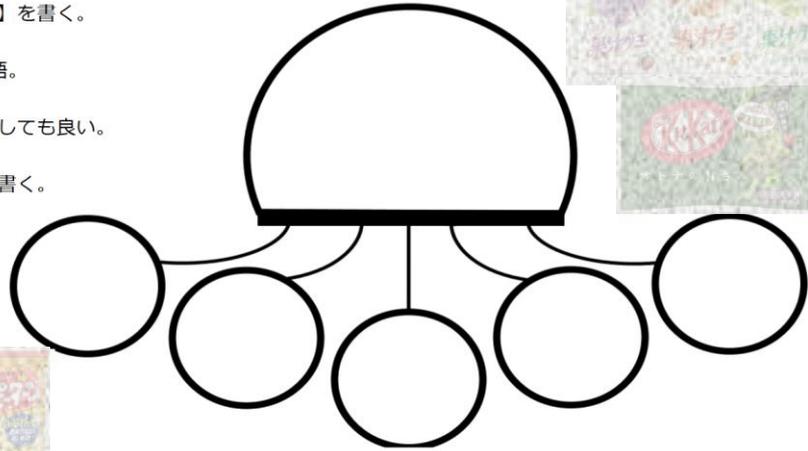
☆頭には、一番言いたいこと【主張】、

足にはその【理由や説明/感想や気持ち】を書く。

☆1つのスペースに書き込む単語は1～2語。

☆関連する内容を書く場合には、足を追加しても良い。

☆2回目にメモを書く時には、色を変えて書く。



【第9時】

November 21st Thursday / 22nd Friday Unit 5 Goal

() 組 () 番 名前 ()

Our checklist of items for an emergency bag
～留学生のためのチェックリストを作ろう～

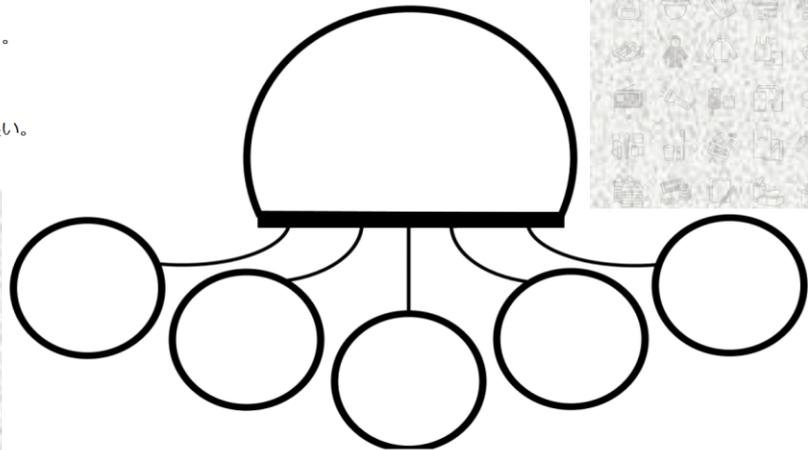
☆頭には、一番言いたいこと【主張】、

足にはその【理由や説明/感想や気持ち】を書く。

☆1つのスペースに書き込む単語は1～2語。

☆関連する内容を書く場合には、足を追加しても良い。

☆2回目にメモを書く時には、色を変えて書く。



4. 事後意識調査

英語「話すこと」に関する意識調査（11月）

B I U ⇄ ✕

この質問は、英語の授業「話すこと」に関する意識についてたずねるものです。自分のことを振り返って、あまり悩まず、思った通りに答えてください。質問は全部で16問です。

※質問1～11は、事前意識調査時と同様の項目であるため省略。

12. 中学2年生2学期の始めと比べて、英語を「話す力」が向上しているを感じる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

12について、その理由を教えてください。*

長文回答
.....

13. 振り返りシートは自分の英語学習に効果的であるとを感じる。*

- そう思う
- だいたいそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない

13について、その理由を教えてください。*

長文回答
.....

14. 帯活動（授業の始めに行っていたペアで話す活動：Explanation Game / Answer + 1 Game / My idea / 制服を着る必要がある？ / 家でやらなければならないこと / 寝る時間）をやってみて、学んだことや感じたことなどを教えてください。 *

長文回答
.....

15. Unit 5では、新出文法（have to / must / should）を学ぶ際、実際の場面の中で自分の考えを話す活動（have to = Family Rule / must = 不安な留学生に地震に備えるべき行動を伝える / should = おすすめのお土産を伝える）を通して学習しました。この方法で学んでみた感想を教えてください。 *

長文回答
.....

16. 今回行った小森の授業について、感じたことを教えてください。 *

長文回答
.....

5. 帯活動とタスク活動に対する生徒の感想（一部）

【帯活動】

| | |
|----------------|---|
| ①思考力の広がりに関する内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを自分の持っている知識で話すことにより英語力だけでなく想像力も鍛えられてきていると思った。 ・やるにつれて、自分の伝えたいことをより正確にできるようになったとともに、何を言おうかと考える時間も短くなった。アイデアが前よりも多く出るようになった。 ・引き出しが増えた。 |
| ②構成力の向上に関する内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・理由がなければ相手にうまく伝えられないこと。 ・最初に自分の主張を伝えること。その後に理由や説明を付け加える。 ・どうしてそうなるのか理由を言わないと相手に伝わらないということがわかった。 |
| ③既習事項の活用に関する内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業で使えた単語を次の授業でも使えるようになっていたことに驚いた。 ・習った文法が活かされた。 ・いろいろな文法を活用して話すことができた。 ・文法の使い方や意味を更に理解するきっかけにできたと感じた。話すことで、英語の「使い方」をより知れたと思う。 |
| ④他者参照に関する内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じ意見、違う意見を聞くことで、どのような文を作ればいいのかなど参考になった。 ・別の人の考えを聞いてたくさんの考えを見つけられた。 ・相手のスピーチを聞いて、この文はこうすれば良いんだとか、私もこの単語使ってみようとかなどを真似できたり、ヒントを得たりできる。 |

【タスク活動】

| | |
|------------------------------------|---|
| ①自分の考えを、自分の言葉として表出できるようになることに関する内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ have to must should の使い方を実際に話すことでよりわかりやすくなったし、体に染み付いた。 ・教科書に載っている以外のことでもこんなことに使えるのかと、実際に自分で試してみるほうがわかりやすかった。 ・助動詞は意味を覚えるのが難しいと思っていたけれど、自分の考えを話すときに使うことで、自然に意味を覚えることができたので、良かった。 |
| ②場面ごとの言語材料を使い分けられるようになることに関する内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・実際にどのような場面で使えばいいかわかった。 have to ・ must ・ should の役割がわかった。 ・この場面ではこの文法が使えるかもなど場面ごと文法を使い分けられた。 ・ニュアンスは似ているけれど、少しずつ使い方の違う 3 つを実際に使うことで理解がしやすかった。 |
| ③相手意識の高まりに関する内容 (自分事として捉える) | <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場になって考えてみることに。 ・相手の状況に合わせて考えることができた。 ・もしも自分が…と考えながらできた。 |

6. 事後実態調査ワークシート

Special lesson: Enjoy talking in English 😊

Class () No. () Name : _____

Mission



We can do it!

みなさんの家にホームステイしている留学生のお母さんが、今年の冬、日本に初めて旅行に来るそうです。

留学生のお母さんは、いろいろな場所へ行ったり、さまざまなイベントに参加したり、おいしいものを食べることをとても楽しみにしています。

自分でも調べているようですが、実際に日本に住んでいる人からのおすすめ情報をより多く聞いてみたいそうです。

あなたは何をおすすめしますか？1つ選び、留学生のお母さんが行ってみたくなる／体験してみたくなる／食べてみたくなるように、選んだものについてあなたの考えや気持ちを含めながら 30 秒程度のショート動画を作成し、留学生のお母さんにメッセージを送ってください。

【メモを書いても良いよ！】

今日の到達度

A · B · C ← ← ← Oを付けてください 😊